

新・ダイワ日本株式ファンド(限定追加型/早期償還条項付) 一桜一 最近の基準価額の動きについて

2012年5月25日

「新・ダイワ日本株式ファンド(限定追加型/早期償還条項付) 一桜一」の基準価額の動きについて、5月23日現在のデータに基づきお知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

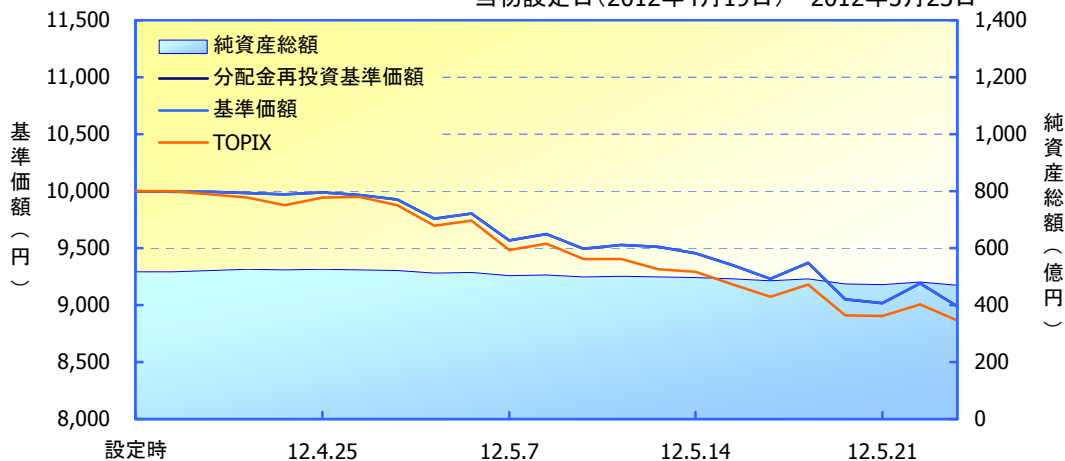
2012年5月23日現在

| | |
|-------|---------|
| 基準価額 | 8,990 円 |
| 純資産総額 | 470億円 |
| TOPIX | 721.57 |

期間別騰落率

| 期間 | ファンド | TOPIX |
|------|---------|---------|
| 1か月間 | -10.0 % | -10.9 % |
| 3か月間 | ----- | ----- |
| 6か月間 | ----- | ----- |
| 1年間 | ----- | ----- |
| 3年間 | ----- | ----- |
| 5年間 | ----- | ----- |
| 年初来 | ----- | ----- |
| 設定来 | -10.1 % | -11.9 % |

当初設定日(2012年4月19日)～2012年5月23日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※ご購入の申し込みはできません。

【基準価額の変化】

当ファンドの基準価額は、設定から5月23日にかけて、10.1%の下落となりました。

株式の組み入れに際しては、設定以降の不安定な相場環境などを受けて時間をかけ慎重に対処しました。

当ファンドでは「世界的に競争力のある部品・素材およびその製造に関する機器を提供する企業」に投資を行っており、業種では景気・為替との連動性が高い電気機器や化学などの組み入れが中心となっています。設定以降の国内株式市況の下落局面では景気・為替との連動性が高い業種や銘柄の値下がりが大きい傾向にあり、当ファンドの基準価額のマイナス要因となりました。

※ 上記データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

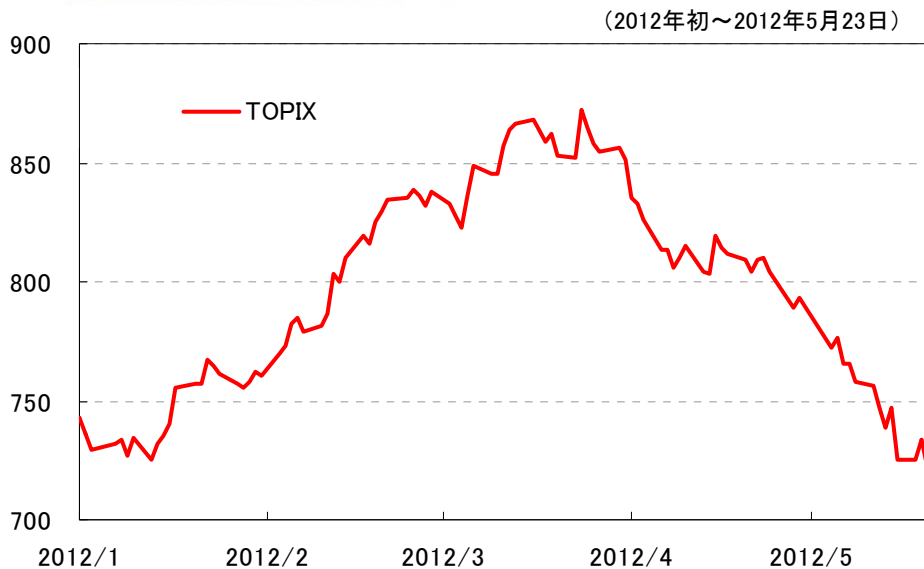
販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

【株式市場について】

国内株式市場は当ファンド設定から5月23日にかけて、TOPIX(東証株価指数)で11.9%下落しました。

設定から4月末にかけては、欧州債務不安への懸念が継続したものの、好決算を背景に米国株式市場が堅調に推移したこともあり、国内株式市場は横ばい圏で推移しました。5月に入ると、株価は下落基調となりました。議会選挙が再選挙となるなど、ギリシャの政治情勢が混迷し、EU(欧州連合)等による今後のギリシャ支援のあり方などに不透明感が強まったことが、大きなマイナス要因となりました。また、予想を下回る米国経済指標の発表が続いたこと、日銀の金融緩和への姿勢がやや後退したように見受けられること、為替市場で円高が進んだことなども株価下落の一因になったと考えられます。

株式相場の推移



(出所)ブルームバーグ

【今後の運用方針】

今後の国内株式市況については、短期的には世界経済や為替相場の動向をにらみながら不安定な推移が続く可能性があります。一方で、現在の国内株式市況はPBR(株価純資産倍率)などの投資指標からみて歴史的な割安水準にあること、世界的な金融緩和傾向や2012年度の企業業績の拡大見通しなどといった下支え要因もあることなどから、世界的なリスク回避姿勢の著しい強まりがなければ、今後は徐々に下値を固める展開へと移行することが想定されます。その後は、時間の経過とともに投資環境が落ち着きを取り戻すに連れて、2012年度の企業業績の拡大見通しや株価の割安感などが見直され、国内株式市況は次第に下値を切り上げる展開へと回帰するとみています。

当ファンドでは、投資環境が落ち着きを取り戻し個別企業の収益力・競争力などが再評価される局面を見据えて、投資対象企業の中でも、特に、電子機器や自動車などの世界的な数量成長の恩恵を享受し安定的な収益を獲得し得る企業、機能向上に貢献できるような高付加価値の製品を開発・供給することで将来的な収益力・競争力の向上が期待される企業などに注目し、投資を行っていく所存です。引き続き、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

以上

新・ダイワ日本株式ファンド（限定追加型/早期償還条項付） 一桜一

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- わが国の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 世界的に競争力のある部品・素材およびその製造に関する機器を提供する企業の株式に投資します。
 - 運用にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ◆わが国の金融商品取引所上場株式の中から、新興国での販売拡大や先進国での次世代商品への買い替え需要が期待される製品において、必要不可欠な部品・素材およびその製造に関する機器を提供する企業を選定し、投資対象銘柄とします。
 - ◆投資対象銘柄の中から、個々の企業の競争力、成長性、財務状況および株価バリュエーション等を総合的に勘案して、ポートフォリオを構築します。
2. 基準価額が一度でも 12,000 円を超えた場合、安定運用に入った後、繰上償還します。
 - 基準価額は 1 万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
 - ・基準価額が 12,000 円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。
 - ・流動性等により保有銘柄の売却が速やかに行なえない場合や、株式の権利関係等の処理に時間を要する場合などがあるため、基準価額が 12,000 円を超えてから繰上償還が行なわれるまで日数がかかることがあります。
 - ・基準価額が 12,000 円を超えてから償還までの市況動向等により、基準価額もしくは償還価額が 12,000 円以下となる場合があります。
 - ・上記基準価額水準は、安定運用に移行する水準であり、当ファンドの基準価額が 12,000 円を超えることを示唆または保証するものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※当ファンドは、業種の偏りが生じる傾向があるため、市場動向にかかわらず基準価額の変動が大きくなる可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用については、次頁をご覧ください。



新・ダイワ日本株式ファンド（限定追加型/早期償還条項付） 一桜一

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

| | |
|---------------------|---|
| 投資者が直接的に負担する費用 | |
| 購入時手数料 | ご購入の申し込みはできません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | |
| 運用管理費用（信託報酬） | 毎日、信託財産の純資産総額に対して年率 1.5225%（税抜 1.45%） ※運用管理費用は、毎計算期間の最初の 6 か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。 |
| その他の費用・手数料 | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社：

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
社団法人日本証券投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会